

令和6年11月発行

暦のうえでは立冬を迎え、急に朝夕の冷え込みを感じるようになりましたが、日中は暖かく、一日の寒暖差が10度以上の日もあります。子どもたちには、徐々に深まる寒さに負けず、元気に過ごしてほしいですね。先生方も、体調に気をつけてお過ごしください。



放虎原こども園公開保育及び協議会開催(10月29日)

爽やかな秋空の下、運動会ごっこや、鬼ごっこ、その他の運動遊び、木の実を使った製作等々、様々な遊びに3～5歳児の子どもたちが主体的に年齢の枠を越えて取り組んでいました。砂場遊びをしている子どもたちが、ダンスの曲がかかると思わず口ずさんだり、その場で踊り出したりなど、それぞれ違う遊びをしていますが、一体感を感じながら過ごしている様子が伝わってきました。

参観後のグループ協議では、保育者の関わり、環境構成等々、小学校教育へのつながりを視点として共に考え語り合いました。その後、長崎県幼児教育センター課長補佐高田敦先生より、指導助言をいただきました。

【放虎原こども園より】

10月12日に運動会を経験。保育者は、運動会当日の出来不出来だけではなく、それまでの過程とその後続く生活や遊びも大切にしている。遊びの後には必ず振り返りの時間をもち、子どもたちと楽しかったこと・困ったことなど話し合う中で、保育者は子どもたちに何が育まれるのか意図を明確にしながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わえるよう環境の構成・再構成を図ってきた。

クラスの集まりの中でアイデアを出し合い、子どもと一緒にプログラムや看板を作成。(変更可)



運動会の競技で使った用具を、自分たちで出しやすく片付けやすいよう、子どもと一緒に用意。



運動会ごっこだけではなく、それぞれに、自分のやりたい遊びが充実するような場作りを。



「作って遊ぼう」のコーナーでは、木の実を使った楽器作りや旗作りを楽しむ姿が。運動会ごっこの応援グッズにしている子どもも。

【指導助言：長崎県幼児教育センター 課長補佐 高田敦先生】

遊びの場面を写真で示しながら、子どもが何を経験し何を学んでいるか、また、必要な保育者の関わり等々、具体的にわかりやすくご指導いただきました。以下は指導助言の一部です。



*運動会で終わらずにその後の遊びや生活につなげるなど、結果だけにこだわらず、「やりたい」「やってみよう」という意欲を引き出している。異年齢の子どもたちが、あたかも自分たちでやっているかのように進めることができていた。

*文字について、書かされているのではなく、運動会のプログラムとして必要感をもって読んだり書いたりし、変更が可能になるよう貼り替えられる工夫もあった。

*鬼遊びは、数が多すぎても少なすぎても面白くない。鬼の数やルールを考え変えるところは、小学校にもつながっていく。

*砂遊びの中に思考力の芽生えが見られた。失敗も大事ではあるが、ドーナツの型押しがうまくできない子に対して「どうして崩れるのか」「どうやったら固まるのか」等、子どもの思考をくすぐるような保育者の一言が必要。

*自発的な遊びの中に、多くの「10の姿」があった。「10の姿」をひとつの物差しとして、遊びの中で学んでいることを読み取り、小学校でどのようにつながるか、今後も互いに共通理解することを大切にしてほしい。

「吃音をもつ子どもの支援～楽に話すを応援する～」

11月10日（日）ミライオン図書館で開催された、言語聴覚士（こども言語相談室 c o t o c o t o 代表）西野章子先生の講演会で、次のようなお話がありました。

吃音の特徴

*2～3歳の2語文以上の複雑な発話を開始する時期に起きやすい。

*吃音の原因は体質的なもの。育て方や性格などは関係ない。

吃音をもつ子どもへの対応

*ゆっくり聞き、ゆっくり話す。

*最後まで話を聞く。

*「ゆっくり話して」などとアドバイスしたり、言い直したりしない。

*目の前のことについて簡単な文で話す。

*子どもの言葉を繰り返す。（承認）

周囲の子どもへの対応

*真似、笑う、指摘は吃音が悪化する要因となりやすい（4歳以降から起こりやすい）。そのような場面に直面した際には、すぐにその場で対応する。

例「わざとじゃないから笑わないでね（真似しないでね）」

「○○くんのお話を、最後までよく聞こうね」

※悪意はなくても、その場でいけないことだと気付かせることが大切。機会を逃すと真似したり、笑ったりしてもいい存在だと認めてしまうことになる。

吃音をもつ子どもへの対応は、全ての子どもにも大切な対応です。子どもたちのモデルとなる私たち保育者がそれらを理解し、吃音の有無に限らず「優しい気持ちで人の話を聞くこと、話すこと」を普段から心がけたいですね。

🔍 参考資料：幼児吃音臨床ガイドライン添付資料2

「吃音（どもっている）かなと思ったらー幼稚園・保育所・認定こども園の先生へー」

・・・おねがい・・・

教育・保育力向上研修会へ沢山の先生方にご参加いただき、ありがとうございます。最近、申し込みの締切りを過ぎてから、出席のご連絡をいただくことが増えてきております。締切り日をご確認いただき、期日内にお申し込みください。また、欠席される場合も、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。次回から、FAXでの申し込み時間を、以下の通りとさせていただきます。

FAX 受付：8時30分～17時15分（月～金）

（TEL/FAX：46-5881）

